

「忘れた頃にやってくる」

先日、山形県や新潟県で大きな地震がありました。津波注意報も発令されたため、テレビの画面を見ながら、東日本大震災を思い出してしまいました。

思い返すと、東日本大震災の時は、停電に悩まされました。震災当日だけではなく、その後の計画停電も含め、ベッドやエアマットといった用具を動かすことができなくなりました。その後、ベッドは緊急時には手動ハンドルで操作できるもの、エアマットはポンプが動かなくてもほとんど空気の抜けないものが登場しました。

当事業所でも、震災後には対策としていろいろなことを検討しました。先程の対策済商品を積極的に提案したり、ホームページで情報提供したり、緊急時の連絡リストを定期的に更新するなど、今でも継続して取り組んでいます。

しかし、時が経つにつれ、自分自身の「緊張感」が、震災直後に比べ薄れてきている感は否めません。川崎にも近いうちに大地震が来る可能性があります。「天災は忘れた頃にやってくる」、今一度肝に銘じ、取り組まなければと考えさせられました。

(2019年7月)

